

# ただいま 工事現場から

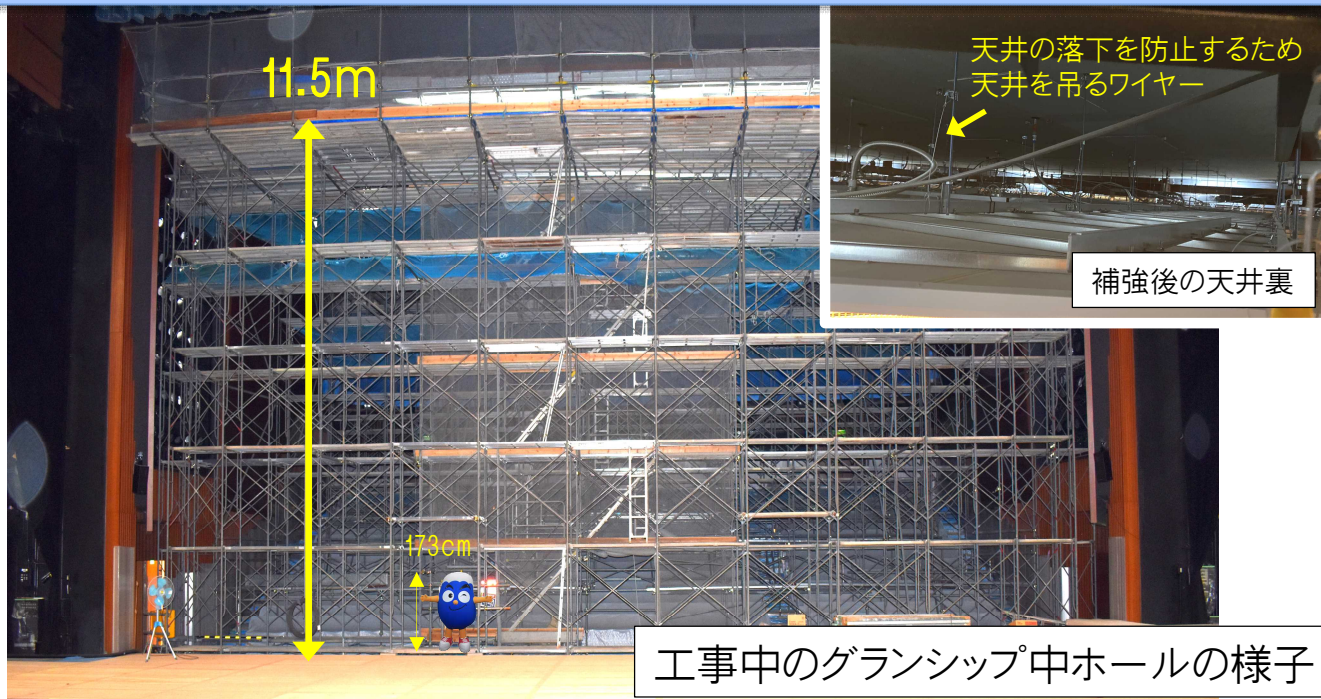


No.4

令和3年8月5日

## グランシップ中ホール屋内特定天井改修他工事(建築)

### 現場概要



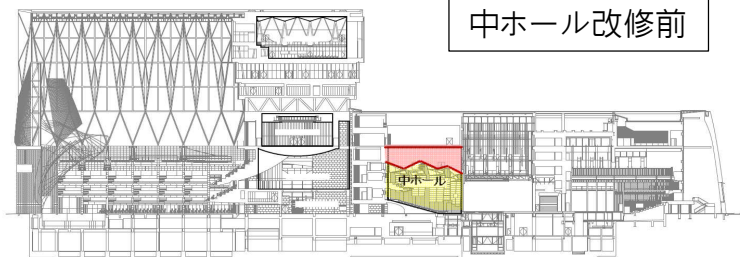
< 舞台からみた足場 > 天井を改修するため室内に足場を設置しますが、複雑な床面のため足場を組むのが大変です。足場はジャングルジムのように入り組んでおり、資材の搬入も限られています。

- 工事名 グランシップ中ホール屋内特定天井改修他工事(建築)
- 目的 大規模地震による天井脱落を防ぎ、県民の命を守るため、特定天井の改修を行う。
- 施工者 清水建設(株)静岡営業所
- 工期 令和2年9月10日～令和3年9月14日
- 施工場所 静岡市駿河区東静岡



中ホール改修前

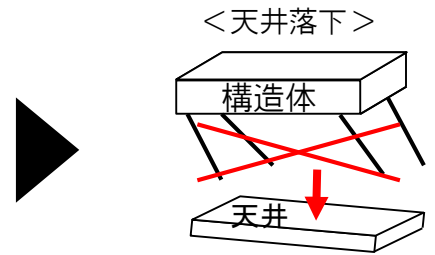
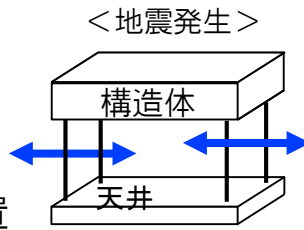
### 外観



# 特定天井とは？

「脱落によって重大な危害を及ぼすおそれがある天井」で次のすべてに該当するものをいいます。

- ◆吊り天井※
- ◆高さが6m超
- ◆面積が200㎡超
- ◆質量が2kg/㎡超
- ◆人が日常利用する場所に設置

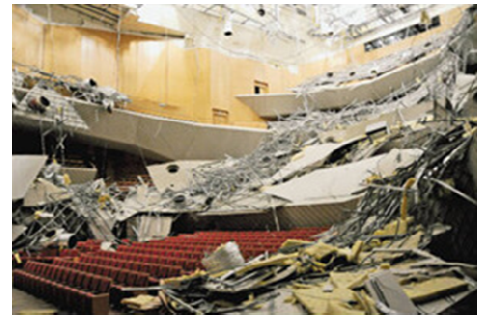


※吊り天井…屋根裏から金属ボルトなどで構成した枠組を吊り下げ、そこに天井材を貼り付ける天井です。

## なぜ改修が必要なのか？

東日本大震災では天井が脱落する被害が多数発生したため、国は天井の脱落防止対策として基準を強化しました。県では基準を満足していない特定天井を順次改修しています。

右写真)H23.3.11 東日本大震災で落下した天井  
(ミュージア川崎シンフォニーホール)



## 現場の声

### ～現場監督にインタビューをしました～



現場監督の  
清水建設(株)静岡営業所  
山本さん

にお話を伺いました！

#### ～インタビュー～

Q:現場監督を目指したきっかけは？

A:父も現場監督をしていて父の携わった現場を見て自分もやりたいと思いました。

Q:現場で大切にしていることは？

A:職人さんが一日無事に作業を終えられるようにすることです。

Q:仕事のやりがいは？

A:竣工したときの達成感です！

Q:これから建築の仕事を目指す若い人たちに向けてメッセージを！

A:竣工した建物を友人や家族に見せたときにとっても誇れるやりがいのある仕事だと思います！

### 現場担当の県職員



建築工事課の吉永です。  
グランシップは静岡県にとって重要な施設で、このような工事に関わることが出来るのは、我々建築職員の魅力です！業務としては工事が問題なく進んでいるかの確認や、施設管理者との調整など多岐に渡ります。もちろん現場においては予期せぬことが発生しますが、このグランシップ改修工事においては施工者や設計者のみんなが工夫をこらして順調に工事が進んでいます！



質問・アンケート

8月31日まで

編集・発行

静岡県 交通基盤部 建築管理局 建築企画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL :054-221-3374